

We Love Suita Osaka

みうらネット



大阪府議会議員 三浦とし子

2010年1月27日発行 No. 46

〒564-0041 吹田市泉町5-15-22
TEL:06-6190-6877 FAX:06-6190-6511

■URL <http://miura.fugi.jp>
■E-mail miura@komei-fu.com

予算編成を巡り橋下知事と意見交換 府民生活まもる予算に



意見交換をする公明党府議団と橋下知事

大阪府議会公明党議員団は、1月18日、作業が進められている平成22年度府予算編成を巡り、橋下徹大阪府知事と活発に意見交換を行いました。

府内の経済動向も、一部に持ち直しの動きが見られるものの、求人倍率の低下、完全失業率の上昇など、厳しい状況が続いています。

このような状況を背景に、法人二税を中心に府税収入は引き続き低迷が見込まれ、22年度当初予算の収支見通しも、「財政再建プログラム(案)」の取組みを行っても、約700億円のさらなる収支改善が必要とされるなど、府の財政は依然として非常に厳しい見通しです。(参考：府の予算規模は全体で、約3兆2,000億円です。)

一方で、府民の皆様の負託に corres 応するためには、府政の喫緊の課題には的確に対応しなければなりません。そのため、事務事業の積極的な見直しで歳出の削減に努め、そこから生み出した財源の一部を活用して重要課題に対する「選択と集中」で、戦略的な財源の重点配分を行わなければなりません。

そんな中、初めての取組みとして予算が固まる前に、重要政策や財政状況について公開で意見交換を行いました。意見交換では、府民の生活をまもる観点から、教育、子育て、中小企業、雇用の各分野におけるセーフティーネット(安全網)の構築などについて議論しました。その主な内容は、次ページをご参照下さい。

【意見交換の主な項目】

○私立高校生授業料支援補助

<事業の趣旨>

私立高等学校に在学する保護者の経済的負担の軽減を図るため、国で実施が予定されている就学支援金を活用し、低所得世帯の子弟が高校進学を断念することのないよう、授業料の実質無償化を実現。

<公明党の意見>

公明党は予めから要望していた、低所得世帯に対する私立高校授業料の実質無料化が盛り込まれたことを評価する。

その上で、中間所得世帯の授業料負担が増えないような配慮が必要。

<知事意見>

中間所得世帯へ現行以上の負担にならないよう制度設計したい。

《参考＝＝現在の検討案のイメージ》

所得区分	保護者負担（現行）	保護者負担（検討案）
250万円未満	56,000	0
250万円—350万円未満	300,000	0
350万円—430万円未満	300,000	251,200
430万円—500万円未満	400,000	351,200
500万円—540万円未満	450,000	371,200
540万円—680万円未満	490,000	391,200
680万以上	550,000	431,200

（注）本表はあくまで検討案であり、決定案ではありません。

○小規模事業経営支援事業費補助

<事業の趣旨>

小規模事業者等の振興をはかるため、府内の商工会議所および商工会連合会が実施している経営改善事業などに対して助成する。

<知事意見>

今年度、財政再建プログラムにより、予算の15%を削減したが、経営相談員の人件費など、人件費補助の傾向が強く、事業のあり方等から考え、新年度においてはさらに、10%の削減を行いたい。

<公明党意見>

大阪における中小企業支援は、きわめて重要な事業である。今年度10%をカットすれば、当初の規模から25%のカットを行うことになる。予算カットの前に、PDCAをしっかりと

検証、分析した上で課題を抽出し、その上で、どのような事業の形とするか議論すべきだ。さらに、府議会の場で議論を進めて生きたい。

○その他

知事から意見交換会のテーマにはありませんでしたが、昨年12月にわが党が予算要望を行った、子育て支援策やガン対策、雇用・就労対策、障害者の就労支援などの取組みについて、意見交換を行い、さらに充実した施策となるよう求めました。

その他、関西国際空港関連事業費など橋下知事より提案されている項目については、2月定例会で本格的な議論を進めて行きたいと思っております。

【三浦とし子プロフィール】

- 現2期
- 都市住宅常任委員会副委員長
- 公明党大阪府本部幹事、女性局次長、文化国際局長代理
- 党吹田摂津総支部長
- 大阪府土地家屋調査士政治連盟顧問
- 大阪日口協会副理事長

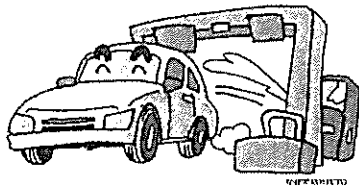


府政トピックス

◎電気自動車の（EV）のための急速充電設備を整備します！

大阪府は、電気自動車を核に産業振興を図っていくために平成21年6月に「大阪EVアクションプログラム」を策定し、様々な取組みを進めています。EVの需要の創出には、インフラとなる急速充電設備の整備が不可欠です。

そこで、このたび、急速充電設備と太陽光発電システムを併せて設置していただける事業者に対する補助金の募集を行い、応募者の中から審査会において、専門的な計算手法を用いた府内での設バランスや主要幹線道路からの距離、充電開



放時間などが審査され、下記の通り、補助金の候補先が決定されました。

＜設備が設置される場所＞

- ローソン枚方南中振二丁目店
- ローソン西中島南方店
- イオン大日ショッピングセンター
- デンソー関西東大阪サービスセンター
- ヤマダ電機LAB11なんば店
- アジア太平洋トレードセンター
- 泉大津市民会館
- 河内長野市役所
- Joshin岸和田店
- イオンモールりんくう泉南

なお、今後、補助金交付先のご協力をいただきながら、急速充電設備に通信機能を付与し、携帯電話から充電設備の使用予約等ができる「おおさか充電インフラネットワーク」も構築される予定です。

☆「大阪まるごと大売出しキャンペーン事業」を実施します。

■実施期間

平成22年2月17日～3月11日

■事業の内容

大阪府内の小売店舗（飲食・サービス業含む）において使用できる大阪府プレミアム商品券「ぎょうさんこう（買う）たろう！商品券」を発行し、府民の皆様は府内での商品購入に使用していただき、消費拡大を図るものです。

■「ぎょうさんこう（買う）たろう！商品券」販売額は、10000円で1,500円のプレミアムが付きます。

販売期間は、2月17日から21日の5日間（有効期限は、3月11日までです。）

■商品が使用できる店舗には店頭には「参加店舗ステッカー及びポスター」が掲示。

■商品が使用できる店舗情報は、順次、ホームページで発表されます。

<https://amarys-jtb.jp/osakamarugoto/wherelise.html>

☆販売店舗：吹田さんくす名店会・デジタルABC南千里店・平和堂FM岸辺店・北千里サティ・ジョーシン吹田上新庄店・ジョーシン千里丘店・ジョーシン江坂店・イズミヤ千里丘店・ジャスコ南千里店

◎合同企業説明会・面接会の開催

厳しい雇用失業情勢に対応するため、大阪雇用対策会議（大阪労働局・大阪府・大阪市・関西経済連合会・連合大阪）の構成5者と堺市が連携し、求人拡大と雇用のミスマッチ解消に向け、合同企業説明会及び面接会が開催されます。

●日時：2月17日（水）10:30-16:30

（若年者、中高年齢者、障がい者、母子家庭の母等の求職者）

18日（木）13:00-17:00

（平成22年3月大学等卒業予定者・卒業後3年までの既卒者）

●会場：マイドームおおさか

●内容：

（1）企業面接会【参加企業40社程度（予定）】

（2）就職支援セミナー【定員：各30人】

（3）就職相談会【定員：25人】

（4）職業適性診断

●問合せ先

大阪市市民局雇用・勤労施策担当

電話：06-6208-7355

メール：koyou-kinrou@city.osaka.lg.jp

地方主権の確立＝地域主権型道州制の実現に向け、 「関西広域連合(仮称)の設立」を目指しています。

関西は、古くから日本の中心として、厚みのある歴史・文化遺産、豊かな自然、充実した産業基盤などに恵まれた地域であるにもかかわらず、東京を中心とした中央集権体制により、その強みや特徴が埋没し、その地位も低下しつつあります。

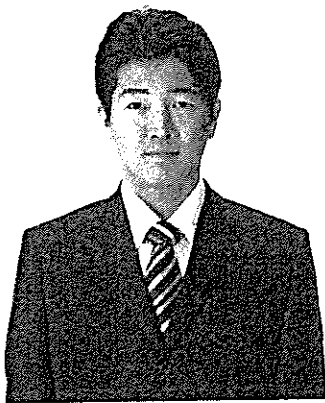
こうした流れを断ち切るために、制度疲労を起こしている現在の中央集権体制を打破し、自らの政策の優先順位を決定・実行できる個性豊かで活力に満ちた関西を作り上げなければなりません。

そのためには、地域主権型の道州制を実現することが理想ですが、道州制については、様々な議論が続けられていることから、その導入のステップとして道州制に代わる広域行政システムとしての「関西広域連合」の実現が不可欠です。

〔広域連合設立後の展開〕

- ① 広域連合議会を設立
構成団体(各府県)の議会において、議員を選挙する。
- ② 広域連合では、広域的な行政課題に関する事務のうち、基礎自治体や府県よりも広域行政体が担うべき事務を行う。
(たとえば、「関西広域防災計画」の策定、広域観光ルートの策定、「関西産業ビジョン」策定、広域的なドクターヘリの運行など)
- ③ 国の支分局からも事務の移譲を受ける。(たとえば、直轄国道・河川の整備、管理、関西3空港の一体的な管理運営など)

夏の参議院議員選挙 大阪選挙区候補(定数3)に 石川ひろたか氏を公認



【プロフィール】

- ・1973年9月生
- ・大阪府出身
- ・党・国際局次長
- ・党・青年局次長
- ・党府大阪未来プロジェクト事務局長
- ・外務省・イラクサマーワ連絡事務所などで勤務

【ごあいさつ】

大衆の党・公明党の大阪選挙区候補として、出馬させていただくこととなりました。

大阪には、人や街を元気にする哲学やパワーが渦巻いています。大阪から、新しい日本の未来を開きたいと思います。

【あとかき】

▼2年前の2月6日に橋下知事が初登庁した。早いもので、橋下府政は3年目。財政非常事態宣言、WTCへの移転問題、大阪市との水道統合、ダム問題、国直轄事業負担金問題と最近では伊丹空港問題など、思えば騒がしく、慌ただしい2年間でした。

▼まもなく開会される2月定例会も、激しい議論となる事が予測され、もしかしたら、紛糾もあり得ます。WTCへの府庁移転条例は昨年の議会で否決されたものの、購入のための債務負担行為についてはどういうわけか可決され、説明がしばらく中途半端に終わっています。

▼この2年間、職員の人件費削減や諸事業の見直し等で、府民の皆様や職員の協力等により行財政改革を断行してきましたが、さらなる収支改善が求められる厳しい状況です。

▼健全な財政を目指し、改革を進めることも大事ですが、府民の皆様が苦しい時にこそ行政が府民を守る為に、その役割を果たさなければなりません。我が党としても、府民の目線で、あらゆる分野でのセーフティネットの構築を目指して頑張っ参ります。